

# 保育者養成校の子育て支援ボランティア体験—「子育て応援隊」の企画と実践

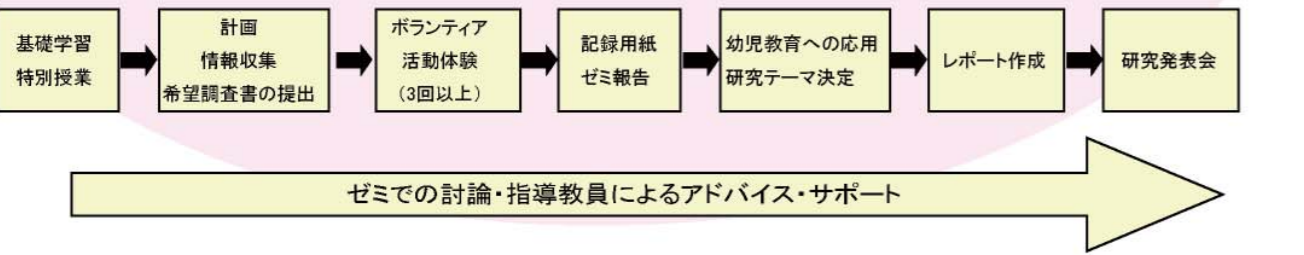
- ボランティア精神の涵養～学生の個性を活かした「総合演習」
- 子育て支援力の育成～「子育て応援隊」の活動実践

**取組の概要**

地域との連携を目的とした2連方式のボランティア体験教育です。一つは、建学の精神「思いやりのある保育者養成」と関連して、「総合演習」科目で全学生が年間3回以上の地域ボランティアを実践しています。ゼミでの学習を踏まえて学生が自ら計画し選択して、様々な地域で多種多様なボランティア活動を体験し、「ボランティア精神」を学ぶ教育です。もう一つは、本学の育児文化研究センターがその事業企画をして子育て支援という明確な目的を持った諸活動に「子育て応援隊」と称して、学生と教員が協働参画するボランティアです。学生達は自治体や企業、民間団体と連携して行う子育て支援事業に参加することを通して、保育者に求められる子育て支援力（ニーズ理解や企画力、支援の方法と技術、コミュニケーション能力等）を習得します。本取組はこの2つの体験型学習を保育者養成教育に有機的に結びつけ活かしあう形で構成されています。

**学生の個性を活かしたボランティア体験 — 「総合演習」の授業方法**

子ども学科では平成12年度から「総合演習ボランティア精神」を設置し卒業必修科目としています。学生達が地域社会に向いて様々な人たちと触れ合い、無償・自発的な行動を起こすことは、建学の精神「思いやりの心と豊かな人間性の育成」の具現化に繋がるものがあり、卒業後には子どもの成長や発達援助に携わる保育者になる者にとっては思いやりの心や豊かな人間性は大事な要素です。学生は自分で計画して自主的に地域ボランティアに出かけます。しかし、単なるボランティア体験に終始させないで、その体験から得たことを基に、将来保育者になるために幼児教育に関連した研究レポートをまとめるという一連の課題として位置づけ、ゼミでの討論や研究レポート作成を経て、最終的には1・2年生全員で研究発表会を行っています。6年間で、総計約2500回の地域ボランティアの実績があります。



**「子育て応援隊」のプロジェクト**

「育児文化研究センター」は、三重県内では唯一の育児に関する実践的専門研究機関でもあります。本学の保育・幼児教育の専門スタッフが持つ知的財産を地域の育児支援や育児文化普及のために開放して地域貢献を行う目的で設置されました。子育て支援事業としては、「子ども広場」「親子クッキング」「親子製作活動」「馬とふれあう親子フェスタ」等を毎年企画し、年間10回以上の事業を行っています。まだ3年目ですが、県内各地からの親子の参加期待が増大し、同時に、県教育委員会や健康福祉部子ども家庭室、津市及び他の自治体や民間団体からのイベント委託要請が、年々増えてきています。これらの事業には、教員と学生が協働参画する形が定着しつつあります。意志ある学生にとっては、様々な遊び等を企画したり、実際の親子に触れたりできる事業で、子育て支援の方法や技術を学ぶ絶好の機会です。平成18年度から「子育て応援隊」と名づけて活動しています。「総合演習」で身につけた「ボランティア精神」を「子育て支援」という明確な目的を持った活動領域に発揮できる応用学習でもあります。約300名の学生が「子育て応援隊」に自主登録しています。

**平成19年度「子育て応援隊」の企画・参加のイベント**

**育児文化研究センター企画の事業**

- ・0・1・2歳児のための子どもひろば
- ・親子クッキング
- ・絵本の読み聞かせ
- ・親と子のための音楽あそびひろば
- ・園児クッキング
- ・馬とふれあう親子フェスタ
- ・保育者のためのパソコン講座
- ・親子バルーン教室
- ・乳児の心を育てるベビーマッサージ教室
- ・子どものための製作活動

など企画

**外部からの委託事業**

- ・町内の七夕祭り
- ・保育園・幼稚園の夏祭り
- ・ジュニアリーダー子どもキャンプ
- ・なかよし日曜学校
- ・津まつり
- ・鈴鹿フェスティバル
- ・三重県読書応援プロジェクト
- ・わくわくフェスタ
- ・パパ教室
- ・子育てサークルの遊び企画事業

など進行中

子どもひろば

馬とふれあう親子フェスタ

親子クッキング

バルーンフェスタ

わいわい広場

わくわくフェスタ

「子育て応援隊」のプロジェクトに関する実践的専門研究機関でもあります。本学の保育・幼児教育の専門スタッフが持つ知的財産を地域の育児支援や育児文化普及のために開放して地域貢献を行う目的で設置されました。